

海況速報

平成6年度 第3号 (通算 No.39)
平成6年8月23日
北海道立水産試験場

☆電話番号の変更のお知らせ☆

海洋部の電話番号が直通になりました。
内容についての問い合わせは

中央水試海洋部 0135-23-4020

7月下旬～8月上旬の海況

【日本海海域】

表面水温について見ると、道北・道南海域では前回（6月）累年平均(*1)よりも1～2℃低い海域が多くなっていましたが、今回は1～2.5℃高いところが多くなっています。道央海域では、道北・道南海域と同様に累年平均よりも高くなっていましたが、特に積丹半島西方沖合で6月以降に発生した、たとえば100m層8℃以上で示される暖水渦の西側で3.5℃以上高くなっています。

しかし、表面以外ではほとんどのところで累年平均よりも低くなっています。

50m層以深を見ると、道央以北の本道沿岸寄りの海域では、累年平均に比べておおよそ1～5℃の範囲内で水温が低くなっています。この海域では、100m・200m層では昇温期にもかかわらず、前回よりも1～2℃水温が低くなるという特異な状況にあります。また、道南海域の沿岸寄りの海域でも、100m・200m層で、前回と比べても水温変化がほとんどなく、累年平均よりも200m層では1～3℃、50m・100m層では3～6℃も水温が低い状態にあります。

津軽海峡西口では、表面水温は累年平均よりも約1℃高いものの、50m以深の層では1～3℃水温が低くなっています。

道央海域沖合での暖水渦の発生により、この海域では対馬暖流の幅（たとえば100m層で7℃）が前回より約100km沖合に広がりました。

余市における沿岸水温（旬平均）は、平年値に比べ4月から7月まで、6月中旬の+2.4℃を除き、-0.7～+0.6℃の範囲内で推移していましたが、7月下旬以降現在まで+1.5℃前後で推移しています。

【道東太平洋海域】

道東を流れる親潮の沖合（釧路南東方向）に前回（6月）あった暖水塊は、この海域の東方に移動し、200m層で5℃以上のところはなくなり、この層では累年平均水温くらべて-1～+1℃の範囲になりました。しかし、たとえば100m層で6℃以上で示される新たな暖水域が、前回よりさらに沿岸側に形成され、100m層以浅では道東沿岸沖の親潮水域の幅が狭くなっています。

表面水温は、親潮の上流側の根室南方海域では累年平均から2.5～5.5℃、暖水域およびその沖合で2～4.5℃高くなっていますが、根室を除く道東沿岸域では約2℃低くなっています。

50m・100m層水温を見ると、暖水域では累年平均に比べて4～8℃高くなっていますが、それ以外の海域（親潮域）では0～4℃低くなっています。

【道南太平洋海域】

表面水温は、下北半島東方沿岸から日高沿岸にかけて 0.5 ～2.5℃、噴火湾湾口東方域で 3.5～4℃累年平均より高くなっていますが、恵山岬東方沖から下北半島北方沿岸にかけては累年平均並の水温になっています。

50m層以深の水温を見ると、道南海域の北側海域では、前回（6月）この海域に「暖水」が流入してきていたこともあり、累年平均より0～5℃高くなっているのに対して、南側海域では、津軽海峡からこの海域に流出してくる津軽暖流の水温が津軽海峡西口の状況を反映して、逆に0～5℃低くなっています。これらのことが重なって、道南太平洋海域の水平方向の水温差が全体的に小さくなっています。

また、津軽暖流の東方への張り出しを、たとえば100m層10℃、50m12℃の等温線で見ると、いずれも東経143度以東に達していることから判断すると、津軽暖流は前回までの沿岸モードから渦モードに変わったようです。

【オホーツク海海域】

表面水温は、本道オホーツク海沿岸の沖合に形成されている冷水帯を除くほとんどの海域で、累年平均に比べて2～5℃高くなっています。沖合の冷水帯では、逆に0～4℃低くなっています。

50m以深の水温を宗谷暖流域の最高水温帯で見ると、50m・100m層では累年平均に比べて0～4℃低くなっていて、宗谷暖流の源にあたる日本海海域の低水温の影響が網走東方海域まで現れているようです。

資 料 〔観測期間〕

| | | | |
|---------|---------|------------------|------------|
| 青森水試 | （東奥丸） | 平成6年8月5日～同8月6日 | （東北日本海海域） |
| 稚内水試 | （北洋丸） | 平成6年8月1日～同8月3日 | （道北日本海海域） |
| 稚内・網走水試 | （北洋丸） | 平成6年8月3日～同8月5日 | （オホーツク海海域） |
| 釧路水試 | （北辰丸） | 平成6年8月1日～同8月5日 | （道東太平洋海域） |
| 函館水試 | （金星丸） | 平成6年7月26日～同7月27日 | （道南太平洋海域） |
| 中央水試 | （おやしお丸） | 平成6年8月1日～同8月4日 | （道央日本海海域） |

*1: 平成元(1989)年～平成5(1993)年までの平均値を使用しました。

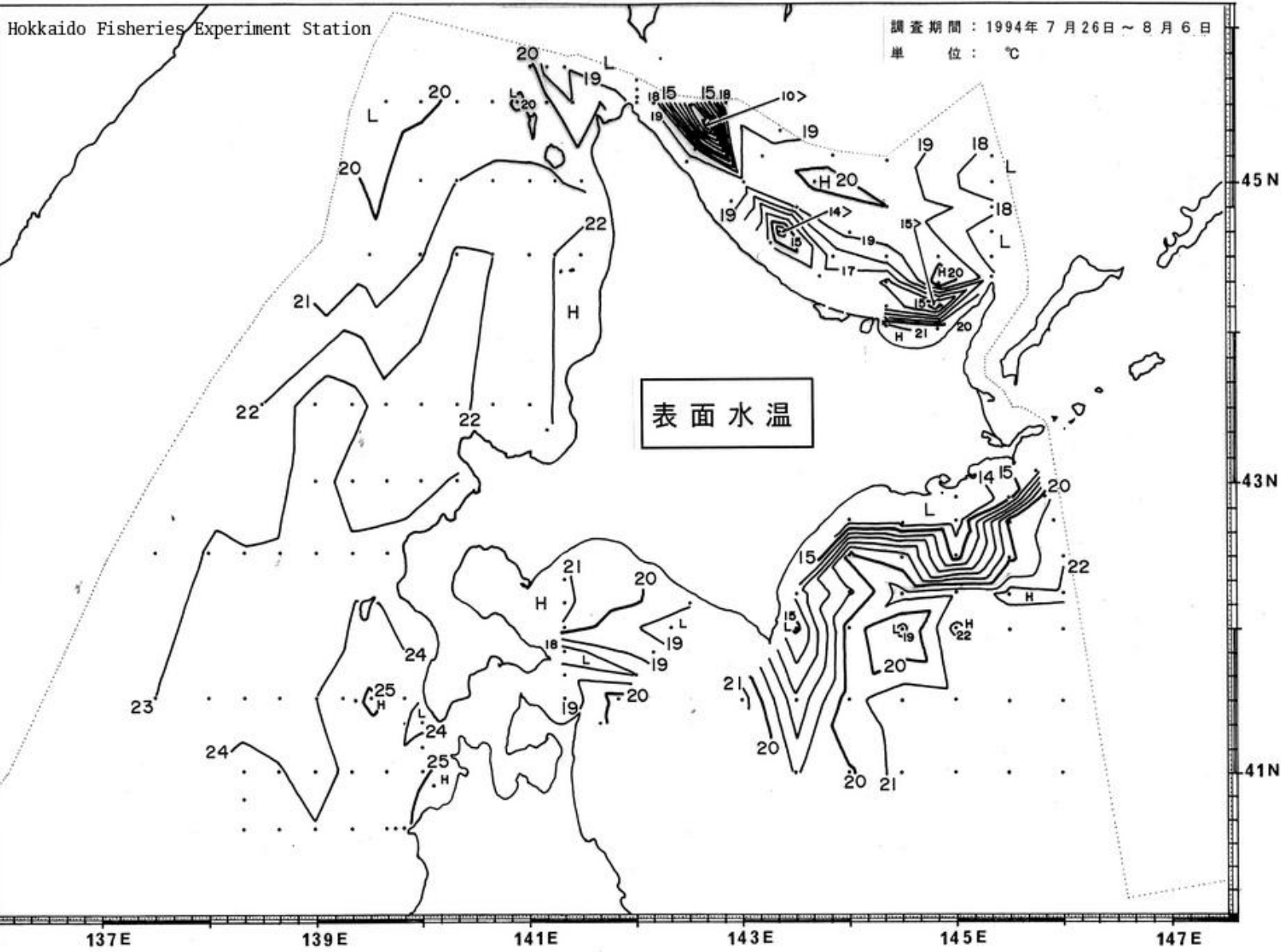
（中央水試 海洋部）

Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1994年7月26日～8月6日

単位：℃

表面水温

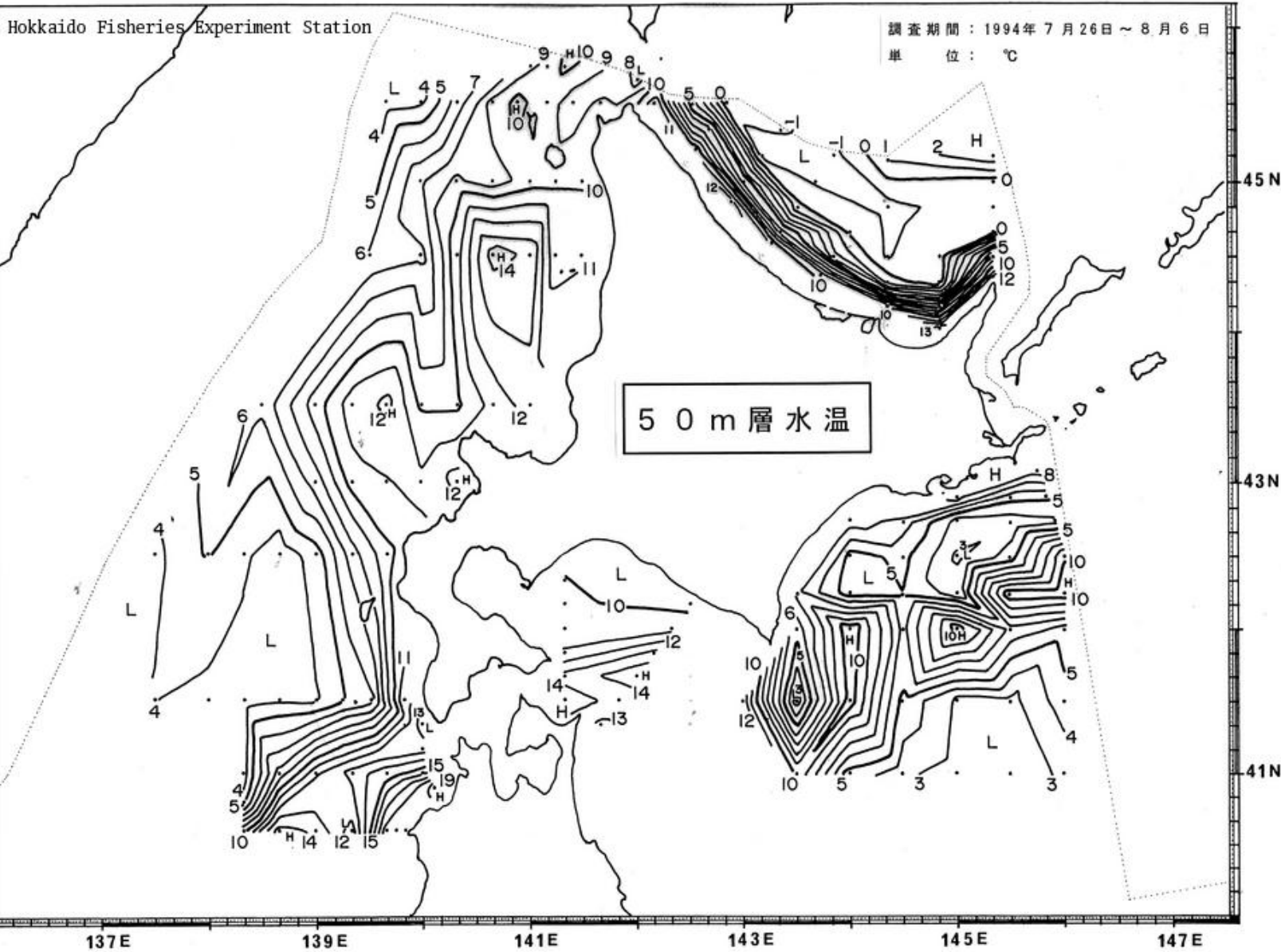


Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1994年7月26日～8月6日

単位：℃

50m層水温



137 E

139 E

141 E

143 E

145 E

147 E

45 N

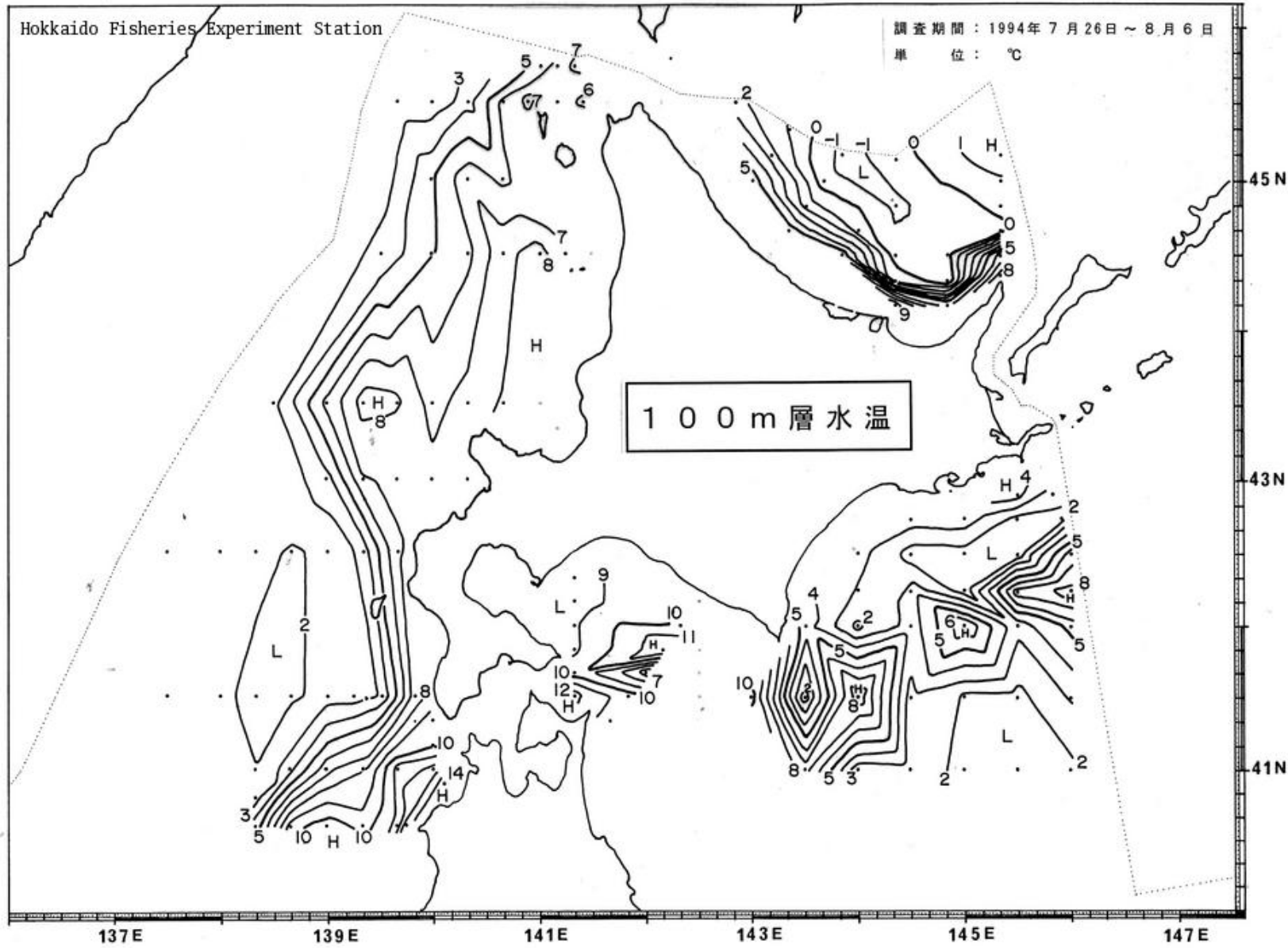
43 N

41 N

Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1994年7月26日～8月6日
単位：℃

100m層水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1994年7月26日～8月6日
単位：℃

200m層水温

